

北海道標茶高等学校の行動計画(アクションプラン) Part 2

全国の農業高校の行動計画		学校において平成28年度に重点化した取組の実現状況・課題			
「5つの基本方針」	「10の行動計画」	行動計画の中で重点化する取組	実現状況	課題	評価
I 持続可能な循環型社会の実現に向けて農業教育と環境教育を推進し、地域の先進的なエコロジカルアグリハイスクールを目指します。	①環境保全型農業を推進する農業教育を実践します。	・安全・安心な原材料生産体系の確立から、家畜飼料作物の自給率10%の向上を図る。	・気候変動の影響等自給率5%であった。	・飼料作物の自給率向上を推進する。	3
		・地域産業と自然環境の調和を追求し、循環型農業の推進を図る。	・家畜糞尿をほ場へ還元することができた。	・野菜畑などのへの還元に取り組む。	4
	②自然環境保全などの環境教育を推進します。	・地域環境で目指している豊かな森と川づくり事業を推進し、環境に優しい農業教育を研究する。	・校地を有効活用した授業や事業展開することができた。	・農業科目以外との連携を推進する組織作りに努める。	5
		・地域と共に環境保全に関わるボランティア活動などへの意識高揚を図る。	・地域環境を学ぶ活動を実施することができた。	・自然体験学習会の更なる内容充実を図る。	5
II 農業に関する基本的な技術や経営能力、倫理観をもった将来のスペシャリストを育成します。	③農業の担い手を育成します。	・農業施設等の視察研修、実技研修や授業の充実により、農業に対する理解を深めるとともに関心や意識を高める。	・外部講師を招いて技術向上を図った。	・実技内容の充実に取り組む。	4
		・「食の6次産業化プロデューサー」認証を推進し、農業理解者を育てる。	・継続して高校生でレベル2認定6名。	・関係科目を横断的に取り組み、6次産業化を推進させる。	5
	④食の安全・安心教育を徹底します。	・品質管理の徹底、施設や設備の定期点検等を行い食品加工品の維持管理に努める。	・食品製造するため重要管理点の見直しと記録管理を行った。	・AFSに基づき更に安全安心な衛生環境と記録を徹底させHACCPの取得に向けて取り組む。	4
・販売実習を通して、生徒の食に関する安全・安心に係わる技能と意識向上を図る。		・表示や管理など各食品科目で実施することができた。	・外部講師の講演など計画し、食品科目の更なる充実を図る。	4	
III 地域貢献、地域連携を推進し、地域農業の発展に努めます。	⑤地産地消を推進するとともに、地域の伝統文化の継承に努めます。	・地域と連携して地域資源を活用した商品開発に取り組む。	・ジャーキーやラスクの商品開発に取り組んだ。	・安定した生産体制の確立に取り組む。	4
		・地域の環境に配慮した農業教育の推進を図り、地域が取り組む環境文化財産の継承に努める。	・校地内のミニ湿原を活用した授業や研究に取り組んだ。	・地域の関連産業人と連携し、新たな視点で湿原を活用する。	5
	⑥産業界や大学等との連携を強化します。	・大学、町との連携協定を活用し、地域の環境保全や地域産業の活性化のための知識技術の向上を図る。	・プロジェクト活動で実施することができた。	・更なる教育効果を目指し、組織体系確立などに取り組む。	4
・就業体験の取組を推進し、地域貢献できる人材を育てる。		・商工会等関係機関との連携が図れた。	・地元産業人育成に取り組む。	4	
IV 農業教育の普及、奨励、支援を行います。	⑦すべての児童・生徒に対して、農業教育の普及活動を実践します。	・生徒が参加する農業関連行事や農業クラブ主催の学校行事を活性化させる。	・全員農業クラブ加入完成年度として、収穫感謝祭を創意工夫し、「いのち」に感謝する取組ができた。	・栽培管理状況をデータ化し、地域に順応した栽培技術の研究に取り組む。	5
		・農業を通して生命を尊ぶ心を育み、豊かな人間性を身につけた人材を育成する。	・標茶小学校に対して食育体験を実施した。	・事後学習体系の内容改善に取り組む。	5
⑧すべての人に対して、農業に対する関心と理解が深まる活動を行います。	・釧路管内の小中学生との農業体験学習を行う	・開放農場には42名の参加があり交流学習を実践した。	・交流計画を定期的に取り組めるように改善を図る。	3	
		・農業の持つ教育力により、地域環境づくりを推進する	・学校Web活用した情報発信ができた。	・迅速な更新に努める	3
		・報道機関との連携やWebページ等を活用し、広報活動の充実を図る			

<p>V 東日本大震災からの農業の復興を支援し、自然災害による被害の軽減に努める人材を育成します。</p>	<p>⑨自然災害による被害の軽減や自然エネルギーの利用についての学習を推進します。</p>	<p>・農業の持つ環境保全力などの理解を深める</p>	<p>・農業実習を通じて、環境保全に取り組んだ。</p>	<p>・継続的に実施し、理解を深める工夫をする。</p>	4
	<p>⑩東日本大震災で被災した農業高校・生徒を支援します。</p>	<p>・被災地支援のための募金活動等を行い、被災地の方々に少しでも支援するように努める</p>	<p>・募金活動を3月に実施する。 ・被災地支援のボランティアに参加した。</p>	<p>・中長期的にわたって支援できる体制を確立させる。</p>	3